

修士課程科目(R02)		授業形態	実習(対面)	先端 ^ハ 材：自由3単位 高度 ^デ ィカル：必修3単位
科目名	高度メディカル実習	ナンバリング コード		先端 ^ハ 材：GMDMFB1015 高度 ^デ ィカル：GMDMAM1004
テーマ	医療現場での体験を通じた外科的療法・薬物療法に関する臨床医学的研究			
開講時期	1年後期			
授業場所	別途通知(対面授業)			
担当教員	武田 泰生 (連絡先：takeda@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp)			
G I O	1	がんの病因・診断を理解し、ガイドラインに沿った治療法を説明する。		
	2	患者の社会的・心理的問題点を把握し、身体症状との関連を説明する。		
	3	医薬品使用に当たり病態と治療の実態を知り、その適正な使用と使用時の問題点を体得する。		
S B O	1	がんの病因、診断が理解できる。		
	2	がんの治療法を理解し、説明できる。		
	3	臨床検査データが理解できる。		
	4	ストレスと身体化症状の関連について理解し、説明できる。		
	5	心身相関の概念について理解し、説明できる。		
	6	ストレス関連疾患の概念を理解し、説明できる。		
	7	治療に使われる医薬品とその使用目的、使用法について理解できる。		
	8	薬剤の作用メカニズムが理解できる。		
	9	医薬品を適正に使用するために、薬物の体内動態を理解し病態との関係を説明できる。		
	10	医学領域の統計手法を理解、実践できる。		
授 業 内 容				担 当 者
1	がんの疫学(死亡数、罹患率など)の解説			大塚 隆生
2	がんの病因(がん遺伝子・がん抑制遺伝子)の解説			大塚 隆生
3	がんの病理について			大塚 隆生
4	がんの病期診断、各臓器がんの診断に有効な腫瘍マーカーの解説			大塚 隆生
5	がんの治療(手術療法、放射線療法、化学療法)について			大塚 隆生
6	心身相関の概念とメカニズムの解説			浅川 明弘
7	ストレス関連疾患の定義と分類の解説			浅川 明弘
8	ストレス関連疾患の治療法について			浅川 明弘
9	行動医学の解説			浅川 明弘
10	ストレス・コーピングの解説			浅川 明弘
11	抗がん薬レジメン登録・管理について			武田 泰生
12	処方せんと投薬履歴の監査・確認について			武田 泰生
13	病棟薬剤業務と医薬品情報提供について			武田 泰生
14	薬物血中濃度の意義と目的について			武田 泰生
15	臨床試験と治験について			武田 泰生
教科書・参考書	実習内で紹介			
評価基準および方法	積極的な実習への参加…70%、質疑応答内容…30%			
アクティブ・ラーニング	方法：⑥その他(実習) 回数：15回中3回			
時間外対応	オフィスアワー	担当診療科、部局へ問い合わせ		
	メール・HP	takeda@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp		
	授業後	担当診療科、部局へ問い合わせ		
その他	特記事項なし			